

南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会会議録

令和2年 7月 7日(火)
午後1時30分 開会

○小出義一委員長

ただいまから、南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会を開会します。
協議第1、調査事項についてを行います。

(1) 設置目的についてを行います。

当委員会の設置目的については、本会議で承認を受けていますが、どのような考えの基で設置をしたのかを委員の皆さんと共有し、確認をしておきたいと思えます。

○小出義一委員長

暫く休憩します。

.....

【休憩中の主な協議内容】

- 小出義一委員長より、委員会の内容について説明
 - ・新美南吉の作品は多くの方から評価されていること、また、南吉の児童文学を世に送り出すために色々な方の後押しがあったという時代背景をこれからも大切にしていきたい。
 - ・新美南吉生誕100年を終えて、今後どうしていくべきかを幅広く検証していきたい。⇒南吉の文学の100年後のあり方

- 委員からの主な意見
 - ・活字離れとなっている一方で、ネットを通じて書籍を読む人が増えている。南吉文学も、ネット書籍の中で読まれるようになればもっと価値が上がる
 - ・半田市民の全世代が新美南吉に関することに触れる機会が必要
 - (例) ▶ 0歳児 赤ちゃん訪問の際に、南吉童話をファーストブックとしてプレゼントする
 - ▶ 小学生 市内全小学校の児童が必ず記念館を来館する仕組みを作る
 - ▶ 中学生/高校生 市内に南吉童話を題材にした壁画を募集して飾る
 - ▶ 高齢者 デイサービスに通所する方が参加するレクリエーションなどで、南吉童話を題材にした絵手紙を書くなど
 - ・市内全ての小学校の児童が、教育課程の中で必ず新美南吉記念館へ来館し、南吉文学について学習する仕組みを作る。※現時点では、学校の判断
 - ・委員会の目的の中に、「児童文学の聖地を目指して」とあるように、半田市の子どもたちが日常の色々な感動して童話を書ける様な取組みを調査の中に入れていきたい。
 - ・観光PR的な看板の設置や、童話賞を盛り上げるための何か目立つものを出すよりも、南吉文学がしっかりと市民の心に醸成されるようなソフト面から考えていくべきなのではないか。

- ▶ 新美南吉が書いた多くの児童書が市民に知られていない。
- ▶ 「ごんぎつね」は知っているが、それが半田市で生まれたものだ知らない市民もいるのではないか
- ▶ 人間的に深いものが書かれているが、その良さが市民に伝わっていない
- ・新美南吉記念館ある資料をいかに多くの方に目にしてもらうかを考えるにあたって、来館のきっかけの中に「遊び心」を加えたものを検討してはどうか
- ・文化・芸術の振興については予算をかけにくいことは理解している。南吉記念館周辺の整備構想があったが費用面の優先順位が高いとはいえない。
 - ▶ 新美南吉に関する発信において、足りていない所に話をもっていくのはどうか（課題は何か・・・(例) 来館者を増やす)

● 遠山光嗣 新美南吉記念館館長

- ・新美南吉生誕100周年を迎えたことにより、全国的にネットワークが広がったことはよかった
- ・半田市民に期待することとして、新美南吉記念館の応援団になって欲しい

● 南吉を活かしたまちづくりにある『まちづくり』のイメージとは何か

- ・ソフト面 市民の意識・心の醸成
 - 子どもから大人までが新美南吉に関することを知る。
 - 南吉文学の良さを知り、感性を育てる（心を育てる）
- ・観光面 市内外からの来館者の増に向けた取り組み
- ・景観面 南吉の里山を活かした景観形成

上記の意見があったが、半田市のまちづくりの中で南吉の位置づけは何か、どのように広げたいのか

● 調査の方向性とその対象は誰に絞るか

- ・方向性：市民の意識・心の醸成（ソフト面）
 - 児童が新美南吉の文学に親しむ機会を各学校で作る
 - 先生たちに講座、読書計画等、色々な仕組みの中に南吉文学の推進を入れていく
- ・対 象：※今は限られた幼保、小学校だけ
※全てのライフステージ

.....

午後1時31分 休憩
午後2時49分 再開

○小出義一委員長

委員会を再開します。

休憩中に委員会の設置目的について皆さんの思いを聞かせていただきました。様々なご意見が出ましたが、今まで続いてきた南吉の検証について、新たな方向性や成果指標を考えていくことについては、異論がないことから色々な角度から再検討しながら進めていきたいと

思います。このことについてご意見ありますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

次に、(2) 今後の委員会の進め方についてを行います。

次回の委員会では、新美南吉記念館関連事業の現状と課題などについて、当局へ説明を依頼したいと思っています。現状を認識したうえで、調査課題について協議を行い、今後の調査方法や視察先の検討を行っていきたいと考えていますので、資料1の内容のとおり当局へ説明資料の要求をしてよろしいでしょうか。

【「意義なし」との声あり。】

○小出義一委員長

次に、(3) 今後の日程についてを行います。

次回の委員会は、7月20日(月)午後1時30分からで、当局による資料説明を行います。その後は、8月11日(火)午前9時30分からで、調査課題の協議と視察先についての協議を行う予定とします。このことについてご意見ありますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

次に、(4) その他についてを行います。

何かある方はいらっしゃいますか。

【「なし」との声あり。】

○小出義一委員長

無いようですので、以上で、南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会を閉会します。
お疲れ様でした。

午後 2時58分 閉会